

両沼地方稲作情報 号外

令和7年9月1日

発行：福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2113)
 金山普及所 (電話0241-54-2801)



J A 会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店、(有)山一米穀店、
 会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区、会津坂下町只見川土地改良区

会津坂下農業普及所のHPで、これまで発行した稲作情報を掲載しております。
 その他、普及だより等の情報を発信しておりますので、お気軽にご覧ください。

- ◎ 高温により、平坦部の早生・中生品種を中心に刈取時期が早まる見込みです。早めに収穫の準備を進めましょう。
- ◎ 籾水分の低下による胴割粒の発生が心配されます。適期刈取を徹底して、品質低下を防ぎましょう。

1 気象情報

- ・経過 7～8月は高温多照少雨で経過しました。特に気温35℃を超える猛暑日が24日間あり、降雨も極めて少なく経過しました(図1)。このため、用水路の下流域等では一部、渇水がみられ、番水等の対策がなされました。
- ・東北地方1か月予報(8/30～9/29)
 向こう1か月は気温の高い状態が続くでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる見込み。期間のはじめは降水量の少ない状態が続く所があるでしょう。天候は平年に比べ晴れの日が多いでしょう。平均気温は高い確率80%、日照時間は多い確率50%です。

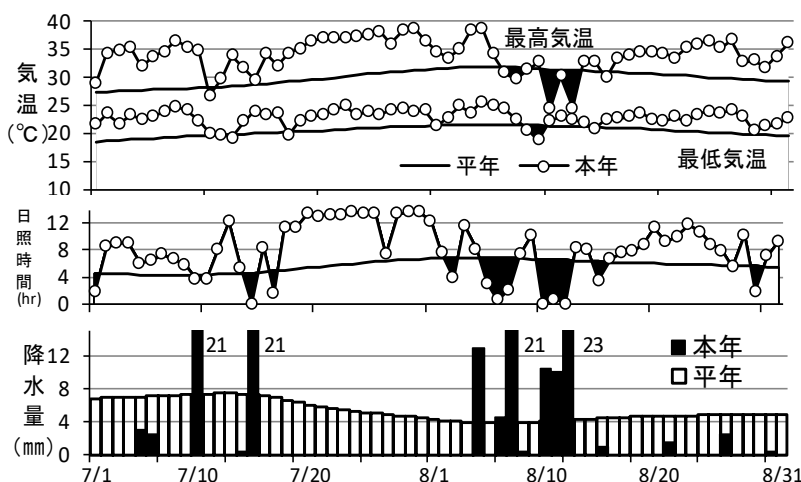


図1 気象の経過(アメダス若松)

2 生育状況

- ・平坦部では、出穂期がひとめぼれ7月27日、コシヒカリ8月4日で平年並～3日程度早まっています。7月下旬～8月上旬の高温により、成熟期は3日～1週間程度早まる見込みです(表1)。
- ・山間部では、出穂期がひとめぼれが8月3日、コシヒカリが8月10日で平年並みです。8月中旬に気温が低かったことから、成熟期は概ね平年並みの見込みです(表2)。
- ・平坦部の直播コシヒカリは、出穂期が8月13日で平年より2日遅く、成熟期は9月23日の見込みです(成熟期が平年より4日遅いのは、生育の不揃いや過去に成熟期が早い年があったためです)。
- ・前年は稈長が長く倒伏が多くみられました(表1、2)。本年は一部、長稈の水田がみられ、8月26日の降雨により、なびき始めがみられます。

表1 作柄解析試験の生育(農業総合センター会津地域研究所)

品種	年次	生育ステージ			成熟期における			
		幼穂期*1 (月/日)	出穂期 (月/日)	成熟期*2 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 (0-400)
(平坦部)	本年	7/4	7/27	(9/2)	-	-	-	-
ひとめぼれ	前年	7/8	7/30	9/6	91.5	19.5	557	285
	平年	7/8	7/30	9/11	91.2	19.3	560	208
	平年差比	-4	-3	(-9)	-	-	-	-
(平坦部)	本年	7/7	8/2	(9/9)	-	-	-	-
天のつづ	前年	7/10	8/2	9/9	79.1	18.8	471	0
つづ	平年	7/10	8/1	9/13	76.4	18.8	499	0
	平年差比	-3	1	(-4)	-	-	-	-
(平坦部)	本年	7/9	8/4	(9/12)	-	-	-	-
コシヒカリ	前年	7/13	8/3	9/10	101.7	18.6	467	300
	平年	7/14	8/4	9/15	98.4	19.0	458	243
	平年差比	-5	0	(-3)	-	-	-	-

注. 5月20日植え・20.8株/㎡(30cm×18cm) *1幼穂形成始期
 *2()は、見込日(アマス若松、日平均積算気温1,000℃到達日(8月31日までは本年値、9月1日以降は平年値で算出))

表2 作柄判定ほの生育

場所 品種	年次	生育ステージ		成熟期における		
		出穂期 (月/日)	成熟期*4 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)
(山間部)	本年	8/3	(9/15)	-	-	-
昭和村	前年	8/2	9/13	85.3	20.9	452
ひとめぼれ*1	平年	8/3	9/15	81.0	19.5	488
	平年差比	0	(0)	-	-	-
(山間部)	本年	8/10	(9/24)	-	-	-
金山町	前年	8/8	9/21	91.8	19.6	373
コシヒカリ*2	平年	-	9/25	89.4	19.1	360
	平年差比	-	(-1)	-	-	-
(平坦部)	本年	8/13	(9/23)	-	-	-
会津美里町	前年	8/9	9/16	98.5	18.8	305
直播コシヒカリ*3	平年	8/11	9/19	95.6	18.5	355
	平年差比	+2	(+4)	-	-	-

注. *1 5月29日移植 *2 5月24日移植 *3 4月29日播種 (各本年)
 *4()は、見込日(平坦部はアマス若松、山間部はアマス金山で、以下表1の*2に同じ)

■落水時期

- ・今後も高温が続くと刈取適期がさらに早まります。落水は出穂30日後を目安に行いますが、排水不良田や中干しが十分に行えずに土壌がぬかるんでいる場合は、やや早めに落水、排水を促して、地耐力の向上を図り収穫に備えましょう。

■適期刈取

- ・収穫日は、おおむね出穂40～45日後頃で、適期収穫の目安は、出穂期後の日平均積算気温が950℃～1,100℃に達した日となります（表3）。
- ・実際には、水田内の中庸な株の籾黄化率を確認して、黄化率が80～90%になった時期（図2）に刈り取りましょう。

表3 刈取適期の目安(出穂期後の日平均積算気温による判定、8月31日現在)

出穂期 (月/日)	平坦部(アメダス若松)				山間部(アメダス金山)			
	950℃ (月/日)	1,000℃ (月/日)	1,050℃ (月/日)	1,100℃ (月/日)	950℃ (月/日)	1,000℃ (月/日)	1,050℃ (月/日)	1,100℃ (月/日)
8/ 1	9/ 6	9/ 8	9/10	9/13	9/10	9/12	9/14	9/17
8/ 5	9/11	9/13	9/16	9/18	9/15	9/18	9/21	9/23
8/10	9/17	9/19	9/22	9/25	9/21	9/24	9/27	9/30
8/15	9/24	9/26	9/29	10/ 2	9/28	10/ 1	10/ 4	10/ 8

注. 日平均積算気温は、8月31日までが本年値、9月1日以降が平年値。



＜留意点＞ 図2 黄化率90%の稲穂のイメージ

- ・成熟期になっても上位葉や穂軸に“青み”が残ったり、2次枝梗の着粒数が多いと登熟に日数を要する等、刈取適期の判定は品種特性にも注意が必要です（表4）。
- ・籾水分は玄米水分計で30%以下になると計測できます。立毛中における籾水分25%が刈り取り開始の目安になります。籾水分20%以下になると胴割粒が発生しやすくなるため、刈り遅れないよう注意が必要です。
- ・高温で刈取適期が早まっています。「会津まつり(9/20)」を待たないで刈取を始めましょう。

■秋の稲すき込み

- ・稲わらのすき込みは、秋に行くことで春のすき込みよりも腐熟が進み土壌還元による生育の障害が軽減されます。収穫後できるだけ早く浅耕（5cm～10cm）しましょう（※深耕すると、下層の稲わらの分解が進みません）。稲わらは貴重な有機資源です。燃やさず有効に活用しましょう。

表4 品種による登熟の特性

ひとめぼれ	・2次枝梗が少く登熟が良い反面、刈取適期幅が短い(積算気温950～1.050℃)
コシヒカリ	・2次枝梗が多く、登熟に日数を要する
天のつぶ	・刈取適期になっても、上位葉や穂軸に“青み”が残る
里山のつぶ	・穂発芽しやすいため、倒伏・刈り遅れには注意が必要

○モニタリング検査の結果が出るまでは、令和7年産米の出荷・販売・無償譲渡の自粛にご協力をお願いします。自粛解除の状況は、福島県水田畑作課のホームページで公表されます。

○秋の農作業安全重点推進期間中です（9/1～10/31）大型機械の作業が増える時期です。点検・整備および周辺環境の確認をしっかりと行い、農作業事故防止に努めましょう。